

公表

事業所における自己評価総括表 (児童発達支援事業 こぐまクラス)

○事業所名	社会福祉法人 清樹会 多機能型児童発達支援事業所 日向の杜		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日 ～ 令和8年1月9日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日 ～ 令和8年1月9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にを行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園をしています。	お母さんたちの日々のやりとりを大事にしながら子どもさんのありのままの姿やかわいい姿を伝え共感しています。子どもさんとの絆を深めるために保護者さんが子どもさんと一緒に過ごせるようにふれあいあそびを定期的に設けています。子どもさんとの絆を深める事で安心して外の世界にチャレンジでき、お母さんたち子どもさんの自信に繋がっています。	親子通園をすることで親子での絆を深めたり、お母さん、お子さんの自信に繋がる保育を展開していきます。
2	身体をたくさん動かしています。 広い園庭があります。	あるこう・リズム・はしろうを楽しい雰囲気の中で、大人も子どもも遊び込んで汗だくになるような活動を積み重ねています。	子どもだけでなく保護者さんも一緒に遊びこむことと考えているため、その活動のねらいや目的を丁寧に詳しくお伝えします。
3	お母さん同士子育てについて話せる場所があります。	親子通園されている保護者さんには昼食時など（親子分離にして）保護者さん同士だけのリラックスできる時間を設けています。お母さんたちの学習会（お勉強会、クッキング等）を開催しています。	日向の杜がほっこりできる場所に子育ての悩みや色んな情報共有をしながら楽しく、リラックスできる時間をつくり、さらなる子どもにとっての安心基地の強化に繋げる仕掛けをしています。
4	楽しい、おもしろい、わくわくするような行事を年に5回開催しています。	子どもさんの「積み重ねてきたこと」「たのしみにしていること」を行事に取り入れ保護者さん、職員と一緒に子どもさんが成長した事を感じてもらっています。	日向の杜が楽しいと感じられるように、活動のねらいや目的を伝え保護者さんと職員と一緒に楽しめる仕掛けを考え、ひとりではない仲間のいる安心感を感じて頂けるように仕向けます。 行事を通して保護者さんと一緒に子どもさんのありのままの姿を振り返ることで、新しい子どもさんの姿や成長に喜びを感じ、日向の杜にきてよかったと思ってもらえるようにし親子の強みにして頂く場所の構築をさらにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感染症の周知が記載されているが全員に周知していないと指摘を頂く。	保護者さんが個人を特定するやりとりが都度あり、特定された保護者さんに不快を与えてしまっています。	周知する必要があるのか、全体で周知するのではなく必要があれば個別で伝えます。（要検討）
2	お知らせ、案内がギリギリが多い。	計画的に進めることが出来きていない。いつまでという期日が曖昧になっている。 15日までの月保育計画は保護者さんへ配布できているが詳細が固まらないことが多いです。	15日の月計画時点で決めるように努めます。わかった時点で、すぐに伝えていけるようにします。
3	避難訓練の回数が少ない。	避難訓練が計画的に出来なかったです。	契約日に、避難時、緊急時の説明をしているが、説明だけではなく保護者さんが不安にならないように避難経路の掲示はしています。その周知をします。 避難訓練を保育の中で行うようにします。（春・夏・秋・冬）